

## 令和6年度 学校経営計画

### 1 教育目標

#### (1) 基本目標

人間尊重の精神を基盤に、個性豊かで情操に富んだ人間として、平和で民主的な社会の発展に貢献する生徒を育成する。

#### (2) 具体目標（目指す生徒像）

- ・情操や感性が豊かで個性のある生徒
- ・自主的に学び創造性に富む生徒
- ・心身ともに健康で実践力のある生徒

### 2 学校経営の理念

- (1) あいさつができ、いじめのない、居がいのある学校を目指す。
- (2) 自主性を尊重し、生徒や教職員の良さが十分に活かされる学校を目指す。
- (3) 保護者や地域から信頼される、開かれた学校を目指す。

### 3 学校経営の方針（地域学校園内で共通する方針は文頭に○）

- (1) ○体力の向上を図り、主体的に行動できる能力・態度の育成に努める。
- (2) ○心豊かな人間性の育成に努める。【重点】
- (3) 確かな学力の定着を図り、学習意欲を高める授業の確立に努める。
- (4) 小中一貫教育と地域学校園の取組の円滑な推進に努める。
- (5) 持続可能な社会を目指しE S Dを推進する。【重点】
- (6) 働き甲斐のある職場づくりの推進に努める。【重点】

[泉が丘地域学校園教育ビジョン]

望ましい人間関係をつくり、進んで学び合う児童生徒の育成  
～ 学びの泉 おもいやりの泉 げんきの泉 ～

### 4 教育課程編成の方針

- (1) 「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」等を踏まえ、本校教育目標が達成できるよう全職員の理解と協力によって編成する。
- (2) 新中学校学習指導要領改訂のポイントである「社会に開かれた教育課程」「これからの時代に求められる資質・能力」「カリキュラムマネジメント」「主体的・対話的で深い学び」を踏まえる。さらに、教科横断的な視点に立った資質・能力の育成を図るため、教育課程全体において、教科横断的な視点からの指導のねらいの具体化や、教科等間の指導の関連付けなどを推進する。
- (3) 「G I G Aスクール構想」推進に向けて1人1台端末の本格的な活用を積極的に進めていく。
- (4) 生徒の調和のとれた育成を目指し、学校の実態及び生徒の心身の発達段階を十分に考慮する。
- (5) 宇都宮市の小中一貫教育の趣旨を生かし、泉が丘地域学校園内の小学校と連携しながら、創意工夫を生かした特色ある教育、特色ある学校づくりを進めるような編成を行う。

## 5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

### （1）学校運営

- ・専門職としての自覚を高め、常に組織的な対応に努める。
- ・子どもと向き合う時間を確保するために、校務の工夫改善及びスリム化を図る。
- ・教職員の時間管理を徹底し、勤務時間を意識した働き方を推進する。

### （2）学習指導

- 基礎・基本を確実に習得させ、それらを活用する力や、自分で考え判断し、表現する力を育成するとともに、目標を持ち、自ら学ぶ意欲を育む。
- ・総合的な学習の時間などで、E S Dの理念を生かした学習活動を取り入れる。

### （3）児童生徒指導

- 心の教育の充実により、自信や自己有用感、規範意識、思いやりを育成するとともに、たくましさや涵養する。
- ・不登校、いじめの未然防止を図るため教育相談を充実させるとともに、不登校の解消を図るため生徒個々の状況にあわせて柔軟に対応する。

### （4）健康（体力・保健・食育・安全）

- 生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力を育成する。
- ・自己の体力の現状を具体的に把握させ、積極的に自己の体力を伸ばしていこうとする態度を育てる。

## 6 特色ある学校づくり等に関する取組

### （1）育てたい資質・能力

- ・よりよい人間関係を構築するために、学校生活に適応できるような自立性を養う。
- ・わかる・できる授業を工夫実践し、基礎的・基本的な学力の向上と定着を図る。
- ・聞く・話すなどのコミュニケーション能力を育て、思考力・判断力・表現力等を高める。
- ・日本文化や郷土文化（宇都宮学）に触れるとともに、礼儀やマナーを身につける。

### （2）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

- ・小中合同の「地域清掃美化活動（ボランティア）」の実施（小学6年生と中学1年生）
- ・生徒会を中心とした「あいさつ運動」の実施（小中合同あいさつ運動）
- ・教員の授業力向上のためのO J Tの推進
- ・授業における意図的・計画的なグループ等による話し合い活動の実践

◇地域の人材を活用した「茶道教室」の開催（2・3年生）

## 7 本市の重点施策・事業との関連

### （1）地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

- ①小学校やP T A，地域協議会，自治会と連携・協力して，地域での活動を継続して実施する。  
地域行事や中学生ができるボランティア活動に生徒を積極的に参加させ地域との連携を図る。
- ②本校の伝統となっている越戸川せせらぎ通りや駅東公園の清掃美化活動等を中心に，地区体育祭・地区文化祭・盆踊り・高齢者や小学生との交流・環境整備等に参加し協力する。

### （2）小中一貫教育・地域学校園

- ①地域学校園内での連絡・調整を行い，小中の連携を図った研修会や合同行事等を実施する。
- ②地域学校園のテーマを踏まえ，小中合同の研修会を行うなど，授業力向上や学習評価に関する

取組を行い、生徒が「わかる、できる」と実感できる授業を実践する。

(3) 不登校対策

- ①不登校生徒の早期発見・早期対応・組織対応を目指し、校内の教育相談部会及び生徒指導部会の充実を図り、全教職員で情報の共有化を図る。
- ②校内の教育相談部会及び生徒指導部会のメンバー構成の検討。スピード感を重視した情報の共有化。複数の担当者で組織的に対応できるよう対象生徒を絞り込んだ「ケース会議」を行う。

(4) G I G Aスクール構想

- ①タブレット型パソコンをはじめとする I C T機器の活用により、主体的・対話的で深い学びを促進し、情報活用能力の育成を図る。
- ②タブレット型パソコンやデジタル教科書等を活用した授業実践と授業の工夫・改善に取り組む。また、不登校生徒に対する連絡手段や学習支援のツールとして、タブレット型パソコンを積極的に活用する。

(5) 宇都宮学

- ①「宇都宮学」の実施により、郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにする。
- ②総合的な学習の時間において「宇都宮学」の授業を確実に実施するとともに、生徒の発達段階を踏まえ、体系的に学習できるよう指導の充実を図っていく。